

平成 16 年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | | |
|---|--|-----------|
| (整理番号) | 提案機関名 | 湘南家畜保健衛生所 |
| 94 | | |
| ※記入不要 | | |
| 要望問題 遺伝子解析分野の充実 | | |
| 要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 | | |
| <p>抗病性、泌乳性、産肉性、産卵性及び繁殖性等、従来は改良増殖技術により新たな品種等が作出されていたが、遺伝子进行分析することにより、従来の改良技術では困難であったこれらの表現型が判別できるようになっている。</p> <p>本県の飼養状況等にあった、家畜を作出するためにも、遺伝子解析分野の充実が必要である。</p> | | |
| 解決希望年限 | ① 1 年以内 ② 2～3 年以内 ③ 4～5 年以内 ④ 5～10 年以内 | |
| 研究対応区分 | ① 研究所対応 ② 委託研究 ③ 共同研究 ④ その他 | |
| 対応を希望する研究機関名 | ① 農業総合研究所（ ② 根府川試験場 ③ 三浦試験場 ④ 津久井試験場 ） ⑤ 畜産研究所 ⑥ 水産総合研究所（ ⑦ 内水面試験場 ⑧ 相模湾試験場 ） ⑨ 自然環境保全センター | |

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

| | |
|----------------|--|
| 回答機関名 | 畜産研究所 |
| 部 署 | 畜産工学部 |
| 対応区分 | ① 実施 ② 実施中 ③ 継続検討 ④ 実施済 ⑤ 調査指導対応 ⑥ 現地対応 ⑦ 実施不可 |
| 試験研究課題名 | (①、②、④の場合) マーカー利用による豚育種選抜方法の確立 |
| 対応の内容等 | <p>家畜の遺伝子解析については、主に単一遺伝子により引き起こされる遺伝病の解析が先行して行われてきた。本県では、系統豚造成過程において PSS 遺伝子病の排除を遺伝子診断により実施してきた。しかし、経済形質のように連続した表現値を示す形質については、表現型が複数の遺伝子座の相互作用や環境の影響を受けるため、単純かつ少数の解析では困難である。</p> <p>そこで、国及び他県との共同により DNA マーカーを用いたマーカーアシスト選抜に、金華豚とデュロック種の家系を用いて取り組んでいる。平成 11 年より肉質に関わる形質の遺伝子マーカーを検索し、平成 14 年度よりマーカーアシスト選抜を実施している。</p> <p>現状の DNA 育種は連鎖解析が主体であり、多数の個体を用いた膨大な DNA 解析が必要であるため県単独での実施は困難であり、他機関との共同研究が必要と考えている。今後、牛や鶏についても、機会を捉えて取り組みの拡大を考えていきたい。</p> |
| 解決予定年限 | ① 1 年以内 ② 2～3 年以内 ③ 4～5 年以内 ④ 5～10 年以内 |
| 備 考 | |